新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里機関紙　　令和５年２月１日発行

つぴまる

シジュウカラ　第103号

若い個体は現在も飼育中。
元気です！

もくじ

1ページ　・アルビノのカラス　大往生
2ページ　・鳥インフルエンザについて
3ページ　・イベント案内（3～6月）
　　・イベント報告（9～12月）
4ページ　・傷病鳥獣の収容状況（8月～11月）
　　・愛鳥センター利用案内

ホームページもチェックしてね

愛鳥センターHP
QRコード

アルビノのカラス　大往生

令和４年12月19日、アルビノ個体のハシボソガラスが死亡しました。

平成５年５月に聖籠町で保護されて以降、愛鳥センターの飼育舎で過ごし、多くの来館者がご覧になったと思います。白化個体で珍しい、縁起物的とのことからメディアに取り上げられたりもしました。

ケージ内では、他の個体と争うことなく比較的穏やかに暮らしていましたが、晩年は白内障と筋力低下から高い止まり木にとまれず地面で過ごしていました。でも、食欲旺盛でドッグフードをボソボソとついばんでいました。

飼育下のため長期にわたり生存することが出来たのですが、ケージ狭くなかったかな、本当は自然界で思いっきり羽ばたきたかったのではないかな、そう考えると少し複雑です。合掌

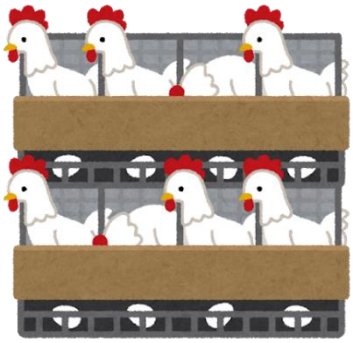
鳥インフルエンザについて

この冬は養鶏場も野鳥も鳥インフルエンザ事例が多数発生しています。愛鳥センターでは、国や県のインフルエンザ発生状況に応じて収容前の野鳥に簡易検査を行っています。昨年度まで、センターで陽性と判定された野鳥は１羽もいませんでした。ところが、今年度はすでに陽性判定が２例出ており、国の調査ではどちらも高病原性と判定されました。

では、鳥インフルエンザウイルスはどのようなウイルスなのでしょうか。

◆【鳥インフルエンザウイルス】

多くのインフルエンザウイルスの中でも変異しやすい特徴を持つＡ型に属し、本来は野鳥が持っていても発症しない無害なウイルスです。ほぼ同意語として「低病原性鳥インフルエンザ」と表されることもあり、この中にも多くの亜型があります。



◆【高病原性鳥インフルエンザウイルス（HPAI)】

高密度な養鶏場などに鳥インフルエンザウイルスが入り、急速に鶏から鶏へ感染を繰り返すと「鶏に高い病原性を示す＝高病原性」鳥インフルエンザ（HPAI）に変異します。HPAI は様々な亜型で変異しつつ発生し数年おきに鶏に流行しては終息していました。（H1～16 の HA 亜型の中で H5 と H7 が高病原性）

◆【近年の動向】

養鶏場などで生まれた HPAI が自然界へ逆移入し、野鳥のウイルスとも交わり、野鳥から野鳥への HPAI 感染拡大を懸念する状況となっていました。今年度の発生件数の多さは、心配していたものがついに来た状態とも言えます。もしかしたら、今後は日本に生息する鳥の中で HPAI が常在化したり、ある種では絶滅が待ったなしの問題となるかもしれません。

少し理解を深めていただけたでしょうか？

鳥インフルエンザウイルスは、たとえば見かけた野鳥が感染していても、むやみに触ったり過度に近づかなければ人間への感染の心配はありません。しかし、感染した鳥と密に接触すれば感染することもあります。

県 HP などでも呼び掛けていますが、弱った野鳥を見かけた場合は、触れたりせずに県の保健所などにお知らせください。また、野鳥などを観察した後は手洗いうがいを行い、できれば帰路につく前に靴底の洗浄や消毒をおすすめします。感染はしなくても、みなさん自身がウイルスの運び屋になってしまう可能性は十分にあるからです。

皆さんには、ぜひ冷静に適正に対応していただきたいと思います。

３月～６月イベント案内

４月以降のイベントは、別に記載があるものを除き
４月１日（土）から申込み受付開始です。

住所・氏名・電話番号・年齢を明記して、電話、はがき、FAX、E-mail でお申し込みください。参加費は無料です。
内容が変更または中止になる場合がありますので、HP 等で最新の情報を確認してください。

○お幕場大池探鳥会（申込受付中）

日時：３月５日（日）9:00～11:00
場所：お幕場大池（村上市）
集合：村上市お幕場大池駐車場　　定員：20 名

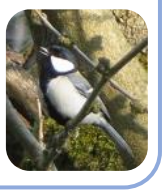
○初心者バードウォッチング①②

日時：①4 月 22 日（土）②4 月 29 日（土・祝）
　　各回とも 9:00～10:30
場所：愛鳥センター周辺　　定員：各回 20 名
座学の後に外で鳥を探します。お子さんも大歓迎！

○めざせ！鳥類調査員 鳥の鳴き声勉強会（春）

日時：４月 23 日（日）9:00～11:00
場所：愛鳥センター周辺　　定員：10 名
鳥の野外調査に興味のある方向けの講座です。

○愛鳥センターバードウォッチング①



日時：５月 13 日（土）9:00～10:30
場所：愛鳥センター周辺　　定員：20 名
どなたでもご参加いただけます。

○羽のしおり作り教室

日時：５月３日（水・祝）～５月５日（金・祝）
　　各回とも 13:30～15:00
会場：愛鳥センター2 階レクチャールーム
定員：なし・申込み不要　開催時間中随時受付けます
所要時間５分程度で簡単に羽のしおりが作れます！

○初心者樹木観察会

日時：６月４日（日）13:30～15:00
場所：愛鳥センター周辺　　定員：10 名
樹木を観察する新しいイベントです！

○新潟県野鳥保護の集い

日時：６月 10 日（日）
場所：愛鳥センター2 階レクチャールーム
定員：40 名
レクチャールームで講演を行います。時間、内容、申込み開始日は未定です。決まり次第ホームページ等でお知らせします。

特別展

○冬季特別展「ホネくらべ」　開催中　～2 月 12 日（日）
○野鳥写真展　２月 18 日（土）～５月５日（金・祝）
○令和５年度用愛鳥週間用ポスター原画募集新潟県大会入賞作品展　５月 13 日（土）～７月９日（日）

2 階ロビーにて
開催中

９月～12 月イベント報告

◆昆虫観察会ナイトウォッチング

日時：令和４年９月３日（土）18:00～19:30
場所：愛鳥センター　　参加者：14 名　　天気：雨
雨のため、室内から窓越しにライトトラップを行いました。コガネムシやガの仲間などを観察しました。

◆ めざせ鳥調査員！鳥の鳴き声勉強会（秋）

日時：令和４年 10 月 22 日（土）9:00～11:00
場所：愛鳥センター　参加者：４名　天気：くもり
座学で地鳴きを中心に解説した後、外で実際の鳴き声の聞き分けを行いました。

◆清潟探鳥会

日時：令和４年 10 月 23 日（日）9:00～11:00
場所：清潟公園（新発田市）　参加者：９名
天気：くもり　　観察種：28 種
水面で休むカモ類や、渡り中の小鳥が上空を通過していく姿を観察しました。

◆弁天潟初心者探鳥会

日時：令和４年 12 月 11 日（日）9:00～11:00
場所：弁天潟風致公園（聖籠町）　参加者：９名
天気：雨　　観察種：16 種
色々な種類のカモをじっくりと観察しました。
上陸しているオオバンもよく見えました。

◆愛鳥講演会

日時：令和４年 11 月 23 日（水・祝）13:00～15:00
場所：新潟県立生涯学習推進センター　参加者：49 名
テーマ：海岸に生息する鳥
演題１「ウミガラスってどんな生き物？」
講師：丹治 陶子 氏（新潟市水族館マリンピア日本海）
演題２「イソヒヨドリは海岸でどうくらす？」
講師：鳥居 憲親 氏（長岡市立科学博物館）
　丹治さんからはウミガラスの生態や飼育の裏側、野生での生息状況について、鳥居さんからはイソヒヨドリの採食生態を中心とした海岸でのくらしについてご講演いただきました。

令和４年８月～11月の傷病鳥獣収容結果

収容NO.	種類	7月末収容数	収容数	放鳥獣	返還譲渡	死亡	11月末収容数	収容NO.	種類	7月末収容数	収容数	放鳥獣	返還譲渡	死亡	11月末収容数
（鳥類）									フクロウ	2					2
1	キジ		1			1	0	22	アオバズク		1			1	0
2	コハクチョウ	7	2			2	7	23	チョウゲンボウ	4	2			1	5
3	オオハクチョウ	1	1			1	1	24	ハヤブサ	1	2			2	1
4	カルガモ		1			1	0	25	ハシボソガラス	3	2			1	4
5	トモエガモ		1			1	0	26	ハシブトガラス		1			1	0
6	コガモ		2	1		1	0	27	ツバメ	2	7	3		6	0
7	キジバト		1	1			0	28	ヒヨドリ		1	1			0
8	アオバト	3	1				4	29	ウグイス		3	1		2	0
9	オオミズナギドリ		2	1		1	0	30	センダイムシクイ		1			1	0
10	ウミウ		1			1	0	31	シマセンニュウ		1	1			0
11	ゴイサギ		2			2	0	32	トラツグミ		1	1			0
12	アオサギ		1			1	0	33	シロハラ		3	1		2	0
13	ダイサギ		3			3	0	34	イソヒヨドリ		1			1	0
14	コサギ		1	1			0	35	オオルリ		2	1		1	0
	ムナグロ	1					1	36	スズメ		5	1		4	0
15	ヤマシギ		2	1		1	0	37	ハクセキレイ		1			1	0
16	ウミネコ	2	1			1	2	38	カワラヒワ		5	3		2	0
17	オオセグロカモメ		1			1	0	39	ドバト		5	4		1	0
18	ミサゴ		1			1	0	40	アイガモ		1			1	0
19	トビ	11	1	1			11	41	レースバト		2		2		0
20	オオタカ	1	2	2		1	0	小計		44	77	27	2	48	44
	サシバ	2					2	（獣類）							
	ノスリ	3					3		ハクビシン	1					1
	クマタカ	1					1	小計		1	0	0	0	0	1
21	オオコノハズク		2	2			0	合計		45	77	27	2	48	45

令和４年８月１日～11月30日までの収容数は、鳥類41種77羽、獣類０種０頭で、昨年度の同時期（鳥類123羽獣類０頭）と比べ鳥類は減少した。（令和４年10月28日～11月18日は鳥インフルエンザの防疫対策のため収容不可）

＜その他＞**トモエガモ**（平成17年に次いで３例目）令和４年10月18日、新発田市東新町地内で保護され、翌19日に収容された。右脛骨骨折、胸部裂傷の状態であり、治療を施したが20日に死亡した。性別：♀　収容時の体重：303g

利用者数

※令和４年10月28日～11月18日は鳥インフルエンザの防疫対策のため臨時休館

月	8月	9月	10月	11月	計	累計
来館者数	472	445	495	450	1,862	645,516
相談件数	61	39	64	49	213	－

館内設置のトキ募金箱の報告

令和４年８月～令和４年12月　1,259円　累計　317,622円

皆様の善意に深く感謝いたします。今後とも御協力をお願いします。

新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里

開館時間：午前９時～午後４時

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

〒957-0231　新発田市藤塚浜海老池

Tel：0254-41-4500　Fax：0254-41-4501

HP：https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/

E-mail：ngt031210@pref.niigata.lg.jp